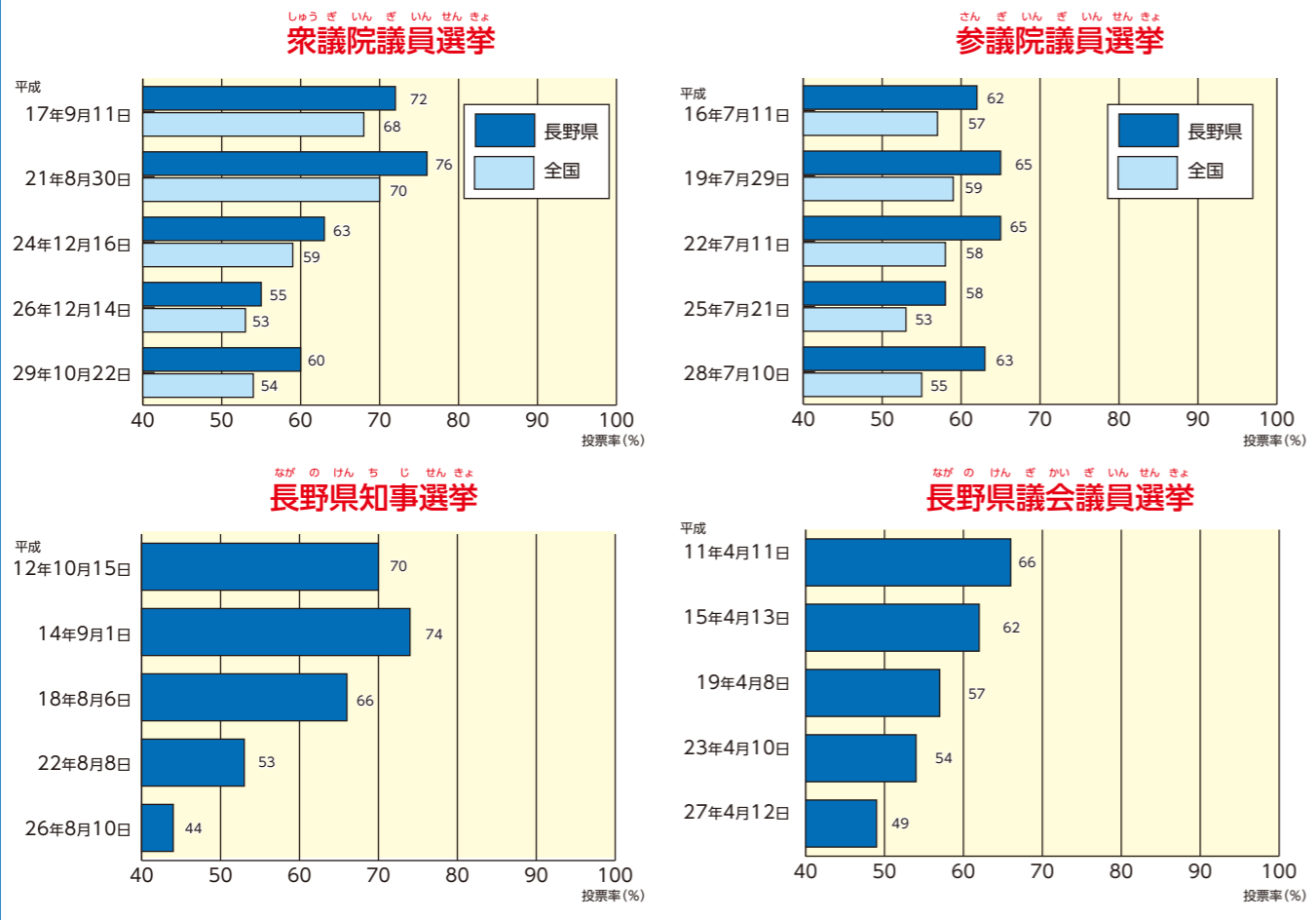
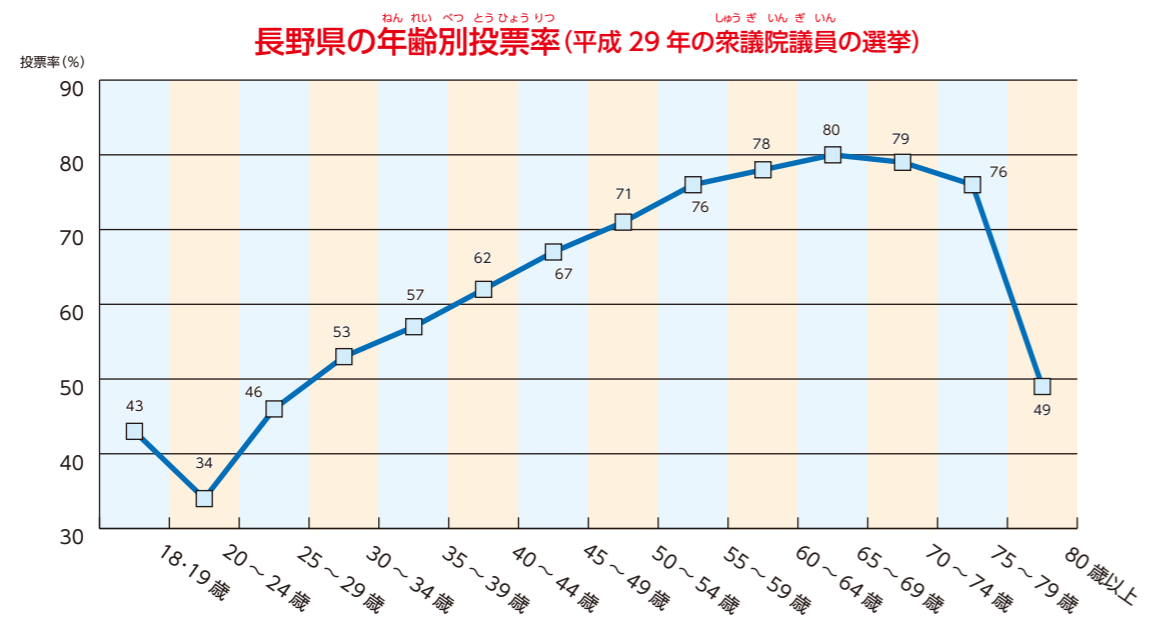


投票率のうつりかわりを見てみよう！

投票率は、投票することができる人のうち、どのくらいの人が投票したかを表すものです。
長野県の状況はどうでしょう？



年齢によって投票率に違いはあるの？



最も投票率が高いのは、65～69歳で80%。一方で、20～24歳は、その半分以上の34%。若いひとの投票率が低いことが問題となっています。



選挙と政治 / 大切な一票 / 政治とくらし

選挙ってなあに？

小学生の部

平成29年度明るい選挙啓発ポスターコンクール作品



安曇野市立明北小学校 3年
ながしま ひろき
長島 弘樹さんの作品

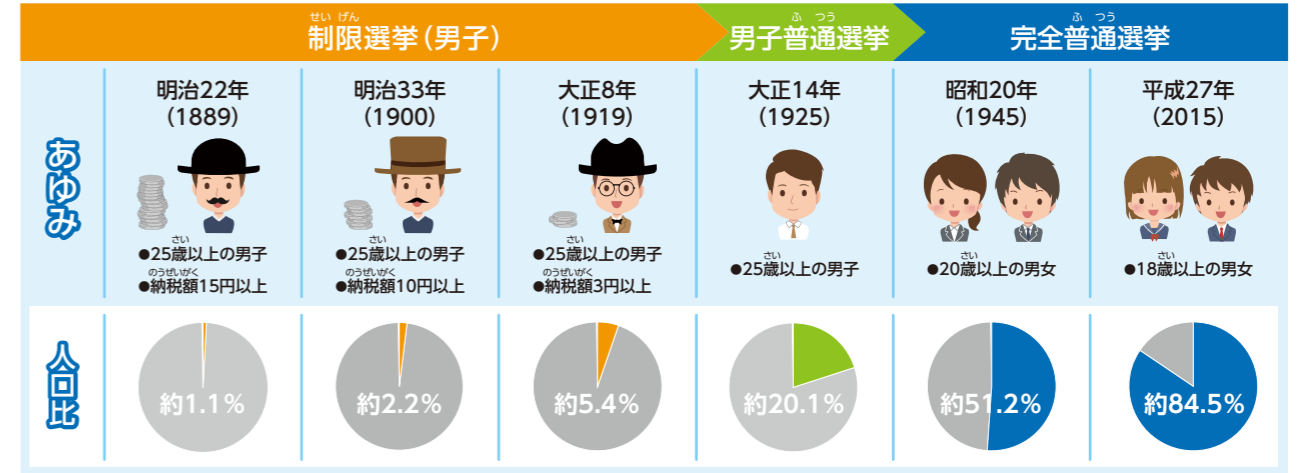


伊那市立西春近北小学校 6年
さとう ゆりほ
佐藤 結帆さんの作品

いつから選挙に行けるのかな？

日本で初めての選挙が行われたのは、明治23年(1890年)のことです。当時は、投票できる人は、直接国税を15円以上おさめている満25歳以上の男性に限られていました。その後、少しずつ制度が改正され、昭和20年(1945年)に、満20歳以上の男女すべての人に投票ができる権利が与えられました。さらに70年後の平成27年(2015年)に制度が改正され、平成28年(2016年)に、満18歳以上の人投票できるようになりました。

選挙制度のあゆみ



選挙ってどうして大切なんだろう？

学校を例にすると… ○○小学校では、生活目標を決めようとしています。

全校集会で決めようとする



大勢の人が一度に話し合うと、たくさんの意見がでて、話がまとまらないよね。

各クラスの代表者として

代表者で話し合い



クラスの代表者が、クラスの意見をまとめて代表者どうして話し合えばスムーズだね。

「朝のあいさつ運動」に決定

わたしたちの国では、国民が選挙で選んだ代表者によって、政治が行われ、わたしたちの暮らしや社会をよりよくするための仕事が進められています。

ひとりひとりの投票により政治を進める代表者を決めることで、政治に参加する権利が守られています。だから、選挙に参加することはとても大切なことなのです。

選挙の仕組みを知ろう！

「選挙」には大きく分けて国全体の政治にかかわる選挙とみなさんが住んでいる地域(都道府県や市町村)の政治にかかわる選挙があります。国の選挙は衆議院議員と参議院議員を選ぶ二つの選挙が、地域の選挙(地方選挙)には都道府県の知事や議員、市町村の長や議員を選ぶ選挙があります。

わたしたちの代表を選挙するための権利【選挙権】と、みんなの代表となるために選挙で選ばれる権利【被選挙権】は、次のようになっています。

選挙権

満18歳以上の日本国民

※地方選挙の場合は、その地域に3ヶ月以上住んでいる必要があります。

被選挙権

参議院議員・知事

満30歳以上の日本国民

衆議院議員
市町村長

満25歳以上の日本国民

県議会議員
市町村議会議員

満25歳以上の日本国民でその選挙権をもっている人

考えてみよう！



みなさんの住んでいる町には、雑木林があります。これまでこの雑木林は使われずにいましたが、今度の町長選挙ではこの雑木林の活用方法が争点になりました。2人の候補者が立候補しています。

A 候補者

雑木林には蚊などの虫がたくさんいて、みんなの家に入り込んだりしているので、雑木林は無くして、跡地をテーマパークにしてお客さんを呼ぼう！



B 候補者

雑木林にはカブトムシなどの昆虫がたくさんいるので、雑木林を活かして子どもの自然学習の場にしよう！



Q. あなたは、どちらの候補者の考えに賛成かな？

あなたの投票

理由
